

「生かし合う」

2020年度 人が育む経済活性化室
副理事長 今岡 正英

どんなに良いことでも一気に事が成るということはありません。また一気に事を決するということを行えば必ずどこかに無理が生じてきます。すべての事は、一步一步成就するということが望ましいと考えられます。それが良いことであればあるほど、それが正しいと思えば思うほど、何よりも辛抱強く、根気よく、続けていくという心構えが必要です。

人のしあわせは非常に尊いものです。尊いものは誰もが尊重しなければいけません。しかし自分のしあわせが尊いことはわかっているとしても他人のしあわせもまた尊いことは忘れがちです。私心に走り私利私欲が先に立つこともしばしば起こります。つまり自分にとらわれるということ、これも人間の弱さとしてやむを得ないことなのかもしれません。しかしこれではお互いの繁栄が生まれてくることはありません。人間本来の姿は生かされません。

人のしあわせ、ひいては豊かなまちづくりのためには、自己を捨て去りまず相手を立てる、私利私欲を抑えて相手を生かす。そうした考えに立ってみななければいけません。そこに相手も生きて自己も生きる力強い繁栄の姿が現れてきます。相手が生きて自己もまた自ずから生きるようになる、これが双方の「生かし合い」ではないでしょうか。

青年会議所には豊かなまちづくりをしていくための責務があります。そのために活動をしていく使命が与えられています。また自らの思い一つでまちを変えられる力さえも秘めています。必ず良いものになる。そう思える事業は、一步一步着実に歩を進め、お互いを生かし合いながら実施していくべきと考えます。